

「特別区全国連携プロジェクト」の取り組みについて

「東北絆まじり2026盛岡」開催協力・連携・23区PRの実施

東日本大震災の鎮魂と復興を願い、東北を代表する6つの祭りが一堂に会する「東北絆まつり」が、今年は岩手県盛岡市で開催されます。昨年は、大阪・関西万博に出展しており、2年ぶりの東北での開催となります。

特別区長会では、特別区全国連携プロジェクトの一環として、前身である「東北六魂祭2015秋田」から、開催PRの協力や支援金の提供を毎年継続して行っています。開催PRについては、23区の庁舎内へのチラシやポスター等の掲示、区のホームページへの情報の掲載など、区民に向けて幅広く行います。

また、今年も現地会場へ赴き、特別区の魅力や本プロジェクトの取り組みをPRする予定です。

東北絆まじり2026盛岡 概要

◆日時

令和8年5月23日（土）、24日（日）

◆場所

岩手県盛岡市内

◆主催

東北絆まつり実行委員会

◆主な内容

東北県庁所在地6市の祭りパレードおよびステージイベント、東北地方の観光紹介、飲食・物販ブース、チャグチャグ馬コ繋留撮影会など

詳しくは、東北絆まつり2026盛岡の公式ホームページをご覧ください。

<https://tohoku-kizunamatsumi.jp/>

(特別区長会事務局)

令和8年度被災地への職員派遣

特別区では、全国連携プロジェクトの一環として、大規模な災害に見舞われた被災地の復旧・復興のため、様々な支援を行っています。

特に平成23年東日本大震災では「考えられる全ての支援協力を全力で行う」ことを、令和6年能登半島地震では、「最大限の支援をしていく」ことを、特別区長会で申し合わせています。この申し合わせに基づき、特別区は、支援金の提供、職員の派遣等に積極的に取り組んできました。

そのうち、職員の派遣については、発災直後から多くの職員を派遣しています。

東日本大震災及び令和6年能登半島地震については、現在、復興に向けて年間を通じた中長期派遣が基本となっています。令和7年度までの実績は、東日本大震災被災地へ累計7,225名、令和6年能登半島地震被災地へ累計2,322名となっています。令和8年度は、復興の進展に合わせて職員の派遣要請がされる中、東日本大震災被災地へ7名、令和6年能登半島地震被災地へ2名派遣しています。

特別区では、引き続き被災地の復旧・復興のため、最大限の支援を行ってまいります。

(特別区長会事務局)

令和6年能登半島地震

(人)

派遣先自治体名	令和8年度		
	事務職	技術職	計
石川県 輪島市	2	-	2
合計	2	-	2

※令和7年度までの累計派遣実績：232名

東日本大震災

(人)

派遣先自治体名	令和8年度			
	事務職	技術職	計	
福島県	南相馬市	1	-	1
	富岡町	3	-	3
	浪江町	1	-	1
	双葉町	1	-	1
	大熊町	1	-	1
合計	7	-	7	

※令和7年度までの累計派遣実績：7,225名

※人数は令和8年4月1日現在